進捗報告報告書(実行団体)

● 提 出 日 : 2022年 10月 17日

● 事 業 名 : みんなの海 project ~地域のすべての子に海での楽しい体験を~

● 資金分配団体 : 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

● 実 行 団 体 : 認定 NPO 法人オーシャンファミリー

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗
					状況
					*
1. 本事業実施対象地域において、障害児	海の自然体験に参加した対象	地域全体で 70 人	2023 年 2	2020年4月1日~2022	1
等何らかの制約で機会が限られてきた子	となる子どもの数	(年間延べ 200 人)	月	年 9 月 30 日まで合計	
達が海の自然体験に参加できる状態にな				189人(延べ679人)。	
る。					
2.、障害児等何らかの制約で機会が限ら	海の自然体験につながるオン	地域全体で10人	2022 年 8	2021年4月1日~2022	1
れてきた子達が海の自然体験につながる	ラインや夏季以外の活動プロ		月	年 8 月 31 日まで合計	
活動プログラムに参加できる状態になる。	グラムに参加した子どもの数			28人 (延べ49人)。	
3. 障害児等何らかの制約で機会が限られ	海の自然体験に参加した子の	地域全体で 50 人	2023 年 2	2020年4月1日~2022	1
てきた子達の保護者が海の自然体験の有	保護者の数	(年間延べ 200 人)	月	年 9 月 30 日まで合計	
効性を認識している状態になる。				307人(延べ952人)。	

4. 障害児等何らかの制約で機会が限られ	海の自然体験を見学した障害	地域全体で 100 人	2023 年 2	2020年4月1日~2022	1
てきた子達と接する障害児施設等のスタ	児施設等のスタッフの数	(年間延べ 250 人)	月	年 9 月 30 日まで合計	
ッフが海の自然体験の有効性を認識して				114人(延べ220人)。	
いる状態になる。					
5. 学校や団体等が海の自然体験に連携・	連携・協力・支援する学校・団	地域全体で10事	2023 年 2	10 事業者	1
協力・支援する状態になる。	体等の数	業者	月		
		(初期値の2倍)			

*進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み	
2.概ね達成の見込み	
2.アウトカムの状況	
A:変更項目	
☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 [□短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値
3. (任意) 活動に関する報告	

③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

□自団体のウェブサイトで表示している □広報制作物に表示している	3
□報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している □その他	
→「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):	

2. 広報

1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

日本教育新聞:2022年8月1日

2.広報制作物等

3.報告書等

4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度)







